



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 日本瓦斯株式会社

コード番号 8174 URL <http://www.nichigas.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和田 眞治

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 中山 雄樹

TEL 03-3553-1281

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

平成22年11月19日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	47,137	4.0	1,681	△49.2	1,499	△51.1	607	△49.9
22年3月期第2四半期	45,338	△9.6	3,310	481.9	3,067	894.8	1,214	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	15.43	—
22年3月期第2四半期	27.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	106,878	33,061	20.4	553.40
22年3月期	114,558	32,916	18.8	548.20

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 21,796百万円 22年3月期 21,591百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	6.50	—	6.50	13.00
23年3月期	—	6.50	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	6.50	13.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,000	9.3	7,200	0.7	6,600	0.9	2,600	0.6	66.01

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 44,961,525株 22年3月期 44,961,525株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 5,575,493株 22年3月期 5,575,252株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 39,386,136株 22年3月期2Q 44,579,474株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第2四半期連結累計期間】	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8
(2) 需要家戸数等の推移	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジア向けを中心とした輸出の増加等に支えられ企業収益や個人消費に一部持ち直しの兆しがあるものの、急速な円高の進行に加え、デフレ傾向が続くなど、依然として先行きに不透明感を残す状況で推移いたしました。

ガス業界におきましては、規制緩和、環境問題、競合エネルギー間の競争が激化するなど、厳しい環境となりました。このような環境下において、当社グループは、ライフラインを担う企業として、幅広いお客様のご支持を受けることが最も重要との認識のもと、引き続き、民生用を中心としたガス事業に経営資源を集中投下し、直売分野での競争の優位性を確保していく方針であります。

そのため、市場価値が高く最も競争の激しい首都圏エリアで、業界の再編や人口動態等、地域の環境変化やニーズを的確にとらえ、一時基地から消費者までを一貫して、あらゆるガス供給に係るサービスが提供できるよう積極的な投資を行い基盤整備を進めるとともに、当社グループを挙げて積極的な営業活動を展開し、顧客基盤の拡充に努めてまいりました。

その結果、当社グループのお客様数は913千戸（前年同期比4.5%増）となり、民生用需要のガス販売量のお客様の増加に伴い堅調に推移したことに加え、猛暑の影響で産業用の空調需要が伸びたこと等により、連結売上高は471億3千7百万円（同4.0%増）となりました。

一方、利益面につきましては、物流コストの削減に加え、保安業務や検針業務の効率化を進めるなどコスト全体の削減に努めましたものの、原油価格が大幅に上昇した影響により、LPG及び都市ガス用LNGの原料価格が前年同期に比較して高値で推移し、ガス売上原価が増加したこと等により、営業利益は16億8千1百万円（前年同期比49.2%減）、経常利益は14億9千9百万円（同51.1%減）、第2四半期純利益は6億7百万円（同49.9%減）となりましたが、原料価格が想定を下回りましたこと等により、当第2四半期の当初業績予想の利益を上方修正しております。

なお、当社グループの売上高及び利益面におきましては、性質上季節的変動が著しいガス事業の占めるウェイトが高いために、下期に偏る傾向にあります。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結累計期間よりセグメントの区分を変更しております。このため、前年同期比較については記載しておりません。

[LPガス事業]

当社を主体とした当事業におきましては、民生用需要のガス販売量は、お客様の増加により堅調に推移いたしました。また、産業用需要におきましても業種により一部復調の兆しも見受けられ、売上高は250億1百万円となりました。

なお、当事業におきましては、物流価格の競争力強化を実現するため、千葉工場を当社グループエリアの中核的なガス充填配送のハブ基地として原料輸入基地の隣接地に開設いたしました。あわせて、埼玉地区の中心部を担う埼玉工場も開設いたしました。従来型のローリー物流からトレーラー物流へ切替え、千葉工場からお客様の身近に建設するデポ基地に配送することにより、徹底した物流の合理化を図ります。デポ基地は関東一円に効率的に配備することを計画しており、下期の需要期に向けて完成を予定しております。また、KDDIとの提携による携帯配送システムの開発により個別配送の抜本的な見直しを行いました。

[都市ガス事業]

当社の都市ガス子会社4社で構成される当事業におきましては、LNGの販売価格が原料費調整制度により第1四半期は前年同期に比べ値下がりいたしました。第2四半期において値上がりに転じました。ガス販売量につきましては、LPガス事業と同様に民生用が、お客様の増加により堅調に推移したことに加え、産業用の空調需要が伸びましたため前年同期に比べ増加いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は221億3千5百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ76億7千9百万円減少し、1,068億7千8百万円となりました。主な要因は、季節的要因により現金及び預金と受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ78億2千4百万円減少し、738億1千7百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少と返済が進んだことにより借入金が減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1億4千4百万円増加し、330億6千1百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.6ポイント向上し、20.4%となり、1株当たり純資産は5円20銭増加し、553円40銭となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績については、当社グループは引続き、顧客基盤の拡充によるガス販売高の伸張及びガス機器の普及・拡大に注力し、売上高は前期比9.3%増の1,110億円になる見通しです。

比較的価格が安定的で中近東に依存しない天然ガスに切り替えるため熱量変更に伴う償却費や顧客基盤拡充に伴う経費等が増加しますが、お客様数の増加等により、営業利益は0.7%増の72億円、経常利益は0.9%増の66億円、当期純利益は0.6%増の26億円となる見通しです。

なお、平成22年4月30日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①会計処理の原則・手続の変更

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

②表示方法の変更

(連結損益計算書)

・前第2四半期連結累計期間において、特別損失の「その他」に含めていた「固定資産売却損」は、特別損失の100分の20を超えたため、当第2四半期連結累計期間では区分掲記することといたしました。なお、前第2四半期連結累計期間の特別損失の「その他」に含まれる「固定資産売却損」は0百万円であります。

・「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,033	10,628
受取手形及び売掛金	7,519	11,426
商品及び製品	3,699	4,321
仕掛品	40	15
原材料及び貯蔵品	88	86
繰延税金資産	792	861
その他	743	372
貸倒引当金	△149	△156
流動資産合計	20,769	27,557
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,354	6,267
機械装置及び運搬具(純額)	39,616	40,513
工具、器具及び備品(純額)	443	444
土地	19,711	19,176
リース資産(純額)	367	304
建設仮勘定	937	1,370
有形固定資産合計	68,430	68,077
無形固定資産		
のれん	7,118	7,550
その他	585	626
無形固定資産合計	7,704	8,177
投資その他の資産		
投資有価証券	3,243	3,485
その他	6,344	6,414
貸倒引当金	△764	△763
投資その他の資産合計	8,823	9,136
固定資産合計	84,959	85,391
繰延資産	1,150	1,609
資産合計	106,878	114,558

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,995	13,976
短期借入金	20,520	21,605
未払法人税等	599	1,452
賞与引当金	436	389
その他	2,799	3,988
流動負債合計	33,350	41,412
固定負債		
長期借入金	35,916	35,518
退職給付引当金	2,016	1,967
役員退職慰労引当金	963	1,054
ガスホルダー修繕引当金	330	302
その他	1,240	1,386
固定負債合計	40,466	40,229
負債合計	73,817	81,641
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	4,386	4,386
利益剰余金	19,904	19,550
自己株式	△7,526	△7,526
株主資本合計	21,763	21,410
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	32	181
評価・換算差額等合計	32	181
少数株主持分	11,265	11,325
純資産合計	33,061	32,916
負債純資産合計	106,878	114,558

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	45,338	47,137
売上原価	23,219	26,803
売上総利益	22,119	20,333
販売費及び一般管理費	18,809	18,651
営業利益	3,310	1,681
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	47	51
不動産賃貸料	12	23
持分法による投資利益	14	19
保険配当金	—	28
その他	114	103
営業外収益合計	193	228
営業外費用		
支払利息	426	409
その他	9	0
営業外費用合計	436	410
経常利益	3,067	1,499
特別利益		
固定資産売却益	3	8
貸倒引当金戻入額	5	—
その他	0	0
特別利益合計	9	9
特別損失		
固定資産売却損	—	6
固定資産除却損	158	11
退職給付費用	184	—
その他	8	1
特別損失合計	351	18
税金等調整前四半期純利益	2,725	1,490
法人税、住民税及び事業税	1,037	455
法人税等調整額	236	328
法人税等合計	1,273	784
少数株主損益調整前四半期純利益	—	705
少数株主利益	237	97
四半期純利益	1,214	607

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社グループは販売を主として行っており、報告セグメントごとに生産規模及び受注実績を金額あるいは数量で示すことは行っておりません。当社グループの売上高及び利益面におきましては、性質上季節的変動が著しいガス事業の占めるウェイトが高いために、下期に偏る傾向にあります。

1) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を報告セグメント別に示すと、次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しているため、前年同四半期実績については記載しておりません。

報告セグメント別販売実績

報告セグメント	当第2四半期連結累計期間 (22.4.1～22.9.30)	前第2四半期連結累計期間 (21.4.1～21.9.30)
L Pガス事業(百万円)	25,001	—
都市ガス事業(百万円)	22,135	—
合計(百万円)	47,137	—

2) L Pガス事業の販売実績

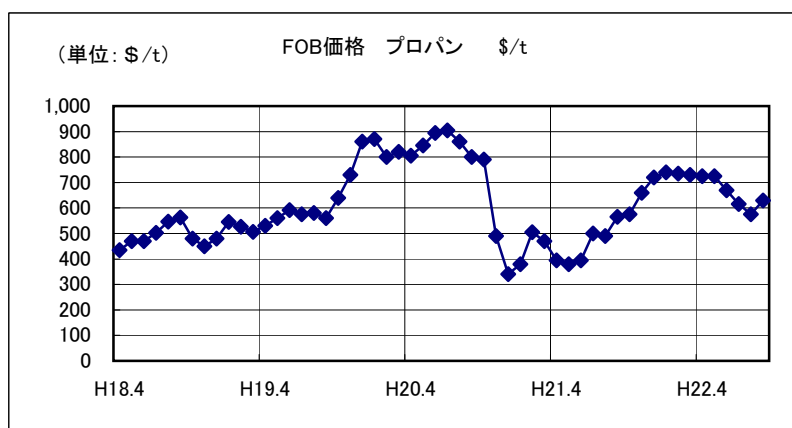
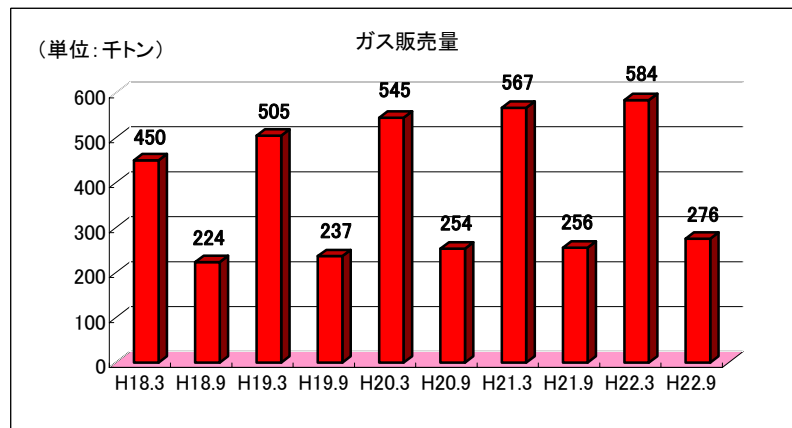
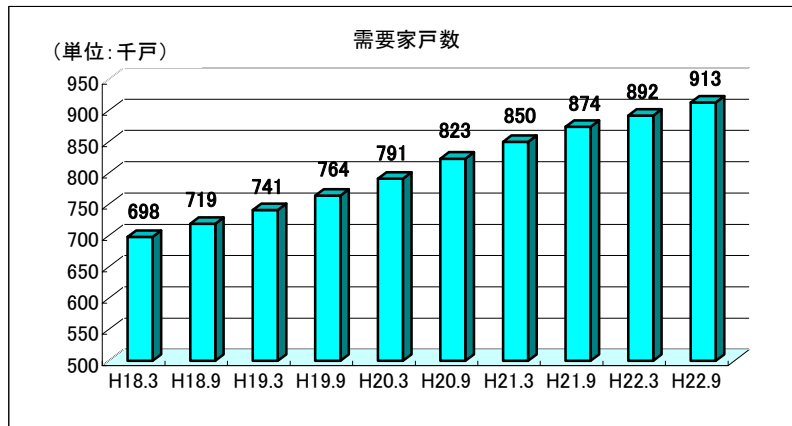
区分	当第2四半期連結累計期間 (22.4.1～22.9.30)	前第2四半期連結累計期間 (21.4.1～21.9.30)
ガス(百万円)	19,063	—
機器、受注工事他(百万円)	5,937	—
合計(百万円)	25,001	—

3) 都市ガス事業の販売実績

区分	当第2四半期連結累計期間 (22.4.1～22.9.30)	前第2四半期連結累計期間 (21.4.1～21.9.30)
ガス(百万円)	18,372	—
機器、受注工事他(百万円)	3,762	—
合計(百万円)	22,135	—

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. セグメント間の取引高は相殺消去しております。



(注) ガス販売量には、都市ガス事業における都市ガス(LNG)販売量をLPG販売量(千トン)にカロリー換算して含めております。